



〇管内の生産状況（2022年）

・栽培面積 3,780ha ・出荷量 10,292t ・生産者戸数 501戸

* 栽培品種の特徴 *

ゆめぴりか

アミロース含有率が低く、ほどよい粘りと豊かな甘味があり、米の食味ランキングでは、13年連続の特Aを獲得。そのおいしさから北海道米ブランドのエースとして大きな期待を担う品種です。

ななつぼし

北海道の代表ブランドとして平成13年にデビュー。ゆめぴりかと同様、食味ランキングでは、特Aを獲得。つや・粘り・甘みのバランスが良く、冷めてもおいしさが長持ちし、弁当・寿司などに人気です。

きらら397

平成元年のデビュー以来、北海道を代表する品種です。甘味が豊かでしっかりとした食感が特徴で根強い人気があり、全国でも広く活躍するロングセラーの品種です。

おぼろづき

ほのかな甘味と独特の風味がある、粘りのある品種です。そのおいしさはコシヒカリと並ぶ評価を得ています。

粒厚が薄く収量性が低いのが弱点です。

えみまる

直播栽培*や高密度播種向けの品種で、農作業の省力化とおいしさの両立を目指したお米です。食味の評価も高く、官能評価では「ななつぼし」並みの総合評価を受けています。

大地の星

極耐冷性・耐病性に優れた、水稲の直播栽培*に用いられる品種です。粘りが少なくべたつきにくいので、主に冷凍ピラフなど加工品で使用されています。

※水田に直接、種を蒔く栽培方法

* 生産・出荷の取り組み *

食味分析・土壌分析の実施

タンパク計による食味の分析と、土壌分析の結果を基に、各圃場に合った品種の栽培を行っています。

栽培履歴の記帳

生産者には栽培履歴・GAPの記帳・提出を義務付け、肥料・農薬の適正使用のチェックを行っています。

害虫・病気の予察

J A管内8カ所に斑点米の原因となるカメムシの予察灯を設置し観測しています。

また、64名の水稻部会予察員がカメムシの発生量を、各観測圃場において調査しています。

J Aでの施設調製

石抜機や色彩選別機により異物や着色米を取り除き、より高品質で信頼される調製を行っています。

低温倉庫の完備

いつでもおいしいお米を届けられるよう、各調製施設には低温倉庫を完備しています。

クリーン農業への取り組み

- ・稲わら焼却禁止
- ・稲わら収集による堆肥化促進
- ・地域住民への稲わら無償提供



= 「YES!clean」の認証 =

「YES!clean（北のクリーン農産物表示制度）」とは、農薬や化学肥料の使用を削減した「クリーン農業技術」を導入し、生産された農産物について北海道が認証する制度です。

道内で生産し、北海道の登録基準に適合したものだけが認証される、より安全・安心を追求したおいしい北海道産農産物の証明です。

